

社会福祉法人小百合苑
令和7年度事業計画書

所在地 大阪府門真市古川町7番3号

理事長 大西宏幸

法人理念 こどもの最善の利益を考える 誇りと責任を持って真心保育を実践する
こどもの成長発達を支える 保育を通して福祉に邁進する
子育てに関わる社会的役割を果たす

法人事業 第二種社会福祉事業

イ)放課後児童健全育成事業 門真市立古川橋小学校放課後児童クラブ

ロ)一時預かり保育事業 古川園 柳町園

ハ)養育支援訪問事業 古川園

ニ)幼保連携型認定こども園 古川園 柳町園

ホ)小規模保育所 ブリスガーデン(休止)

ヘ)障害児通所支援事業 ふるかわベース

- ・透明性の高い、地域に受け入れられる法人経営をする
- ・みんなの「生きる」を支える。社会福祉法人として地域共生社会の実現を考える。
- ・持続可能な法人を目指して SDGsの取り組みと働き方改革を積極的に進める
- ・地域の子育ての実情を踏まえ、子どもの居場所づくり、貧困対策を考える
- ・効果的な法人の広告のあり方を検討する
- ・6月に障害児通所施設開設。障害による生活のしづらさに寄り添う。事業として軌道に乗せる。
- ・古川橋北エリア都市開発によりブリスガーデン休止中。タワーマンション完成後、令和 8 年 11 月以降の再開に向け準備する。

人事異動

R7年4月	古川園	柳町園	古川橋児童クラブ	児童発達支援事業
採用	河口 小村 稲垣 白池 早田	中村 中川 川瀬		目加田 砂田
復職		芝 田村 京本 稲垣 福島 高橋	阪本	
退職	森本			
異動	丸山 上村(児発へ)		阿部(児発へ)	

職員研修

- ・法人合同研修未定 開催を検討する
- ・保護者対応の言葉遣いやマナー、分かりやすく明確に伝える力をつける。保育サービスを提供する側、受ける側の価値観や考え方のギャップを意識し対応する。
- ・新任職員の育成に取り組む。仕事と保育を分けて考えてまずは仕事ができるように育成する。

相談・苦情処理 各事業所に解決責任者・受付者を置き、虐待防止委員も兼ねる。

- ・苦情解決の体制を保護者に周知する
- ・保護者の意見を各事業所で公表・謝罪等、迅速に丁寧に対応する。意見に基づき改善する。

	古川園	古川橋小学校 児童クラブ	児童発達支援	柳町園
苦情解決 責任者	古川園園長 藤岡里実			柳町園園長 大西宏幸
	副園長 松成晋一	前主任 阿部利香	児童発達支援管理責任者 目加田順平	副園長 大西佐知子
苦情 受付者	主幹保育教諭 秋山尚美	主任支援員 宮地律子	児童発達支援管理責任者 丸山佳代	主幹保育教諭 平田玲子

福利厚生

- ・無配当総合福祉団体定期保険に法人職員全員の加入
- ・近隣市の採用条件を踏まえ、法人独自の保育士確保のため奨励制度を準備する。
- ・人材の確保や定着、育成に積極的に取り組み、人を大切にする。従事者の意見を取り入れ、働きやすい職場、労働環境の実現を目指す。業務の明確化を図り、意識改革をする。
- ・健康維持に取り組む。(メンタルヘルス、ワクチン費用負担)
- ・麻疹・風疹に備える。(抗体検査、予防接種の履歴確認等)
- ・職員健康診断 5/8(水)健診車と10月医療機関に分かれて受診
- ・観劇、コストコ会員、映画券など法人で働くモチベーションアップになるプラスαを検討する

虐待防止・機関連携

- ・法人職員は児童福祉に関わる職務を自覚し、こどもへの不適切な対応をしない。
- ・職員の倫理観向上 不適切な保育について話し合える関係性、風通しの良い施設づくり
- ・各事業所の虐待防止委員会を中心に虐待に対応できる体制を整え、不適切な養育や虐待が疑われることの早期発見・防止・連携に努める
- ・市各機関・子ども家庭センターと連携し、門真市の抱える子育て事情に対応する。

法人内交流

- ・法人内施設交流 施設間で相互に学び合う機会を作る 合同食事会を企画する

危機管理

- ・避難計画・安全確保計画・事業継続計画策定 実情とすり合わせながら見直す。
- ・ヒューマンエラーを自覚し子どもの安全についての意識と非常時の組織対応力を高める。
- ・門真市内の急速な少子化の中、持続可能な法人となるよう園の付加価値を高める。
- ・積極的に ICT と SNS の活用で園の魅力を情報発信して新規入園者の獲得を目指す。
- ・災害・事件発生等の非常時は行政・警察の指示に従い、待機・避難等対処する。
- ・浸水想定区域内であることを理解し、非常災害対策計画を見直す。南海トラフ地震に備える。
- ・事故ゼロ、怪我ゼロ、安全対策の徹底 発生原因究明と対策を講じる。月初めに安全点検。

乳幼児保育・教育事業 古川園・柳町園

保育方針

一人ひとりのこどもを大切に、明るい笑顔、優しい言葉をモットーに
家庭的な雰囲気の中で真心のある保育を実践します

保育目標

よく見て、よく聞いて、よく考える子
心身共に健やかな子 思いやりのある心豊かな子

保育計画

こどもの最善の利益を考える
一人ひとりの個別計画のもとに成長発達を支える
こどもの立場や思いを理解し、楽しい園生活を保障する
叱らない 教える保育、喜びを感じる保育の推進
こどもの人権を守る(いじめ、仲間はずれ、懲戒等はない、させない)

保育サービス 子どもの権利条約を認識し子どもの健やかな成長を目指す

年齢	認定	古川園	柳町園
1号認定	教育時間	9:00～14:00	9:00～14:00
2号認定	短時間	8:30～16:30	8:30～16:30
3号認定	標準時間	7:00～18:00	7:30～18:30
開門時間		7:00	7:30
閉門時間		19:00	19:00

- ・最低基準以上の職員配置
- ・保育サービス開始 重要事項説明書を説明し、同意を得て保育を開始する
- ・「認定の時間」と申請した「保育利用時間」の違いについて保護者に理解を求める
- ・乳児保育 担当制と丁寧な保育
- ・一時保育 6ヶ月以上～就学前 子育て家庭・保護者を支援する保育サービス
- ・障がい児保育 適切な支援が受けられるよう、障がい・生活のしづらさ、困り感を理解
- ・門真市の著しい少子化を理解し、安定した利用者確保に向けて対策を練る。
- ・物価・人件費高騰の対応で、延長保育料、講師指導料・給食充実費などが値上げする。
- ・学校施設関係者評価 評価委員(有識者3名、保護者代表2名)を行事や研修に招き、施設の現況を評価いただく。

職員資質向上

- ・保育のスキルアップをサポート、キャリアアップ研修を含むすべての研修費用を負担し、資格取得も含めて、保育者のキャリア形成と学習意欲向上を積極的に支援する。
- ・スマイルサポーター・幼児教育アドバイザー養成講座等研修の充実、保育の質の向上を目指す。

- ・SDGsについて研究し、保育やこども達の生活の中に意識付けできるよう関わる。

地域貢献事業

- ・地域の子育てに関わる社会的役割を果たし、実績を積む。地域貢献支援員研修終了者増員。
- ・子育て支援、地域貢献、生活困窮支援をする。行政と連携し小学校夏休み中のこども食堂実施

	古川園	柳町園
園庭開放 育児相談	開園日(行事日・準備日を除く) 10:00～13:00	水曜日 10:30～11:30
親子保育 身体測定	第2火曜2部制 10:00～10:45 11:15～12:00	水曜日年9回 10:30～11:30
なかよし広場出張保育	5/27 9/2	11/8 2/7
こども食堂	4/12 6/14 8/9 10/11 12/13 2/14	2か月に1回開催
地域貢献支援員 スマイルサポーター	秋山 松成 平井 富永 淡路 江口 倉本 小長谷 森本 福本 寺馬 田中裕	大西佐 平田 橋田 古川 眞野

人材確保

- ・保育者養成校の学生減少時代を鑑み、新卒人材確保を喫緊の課題として対策する。
- ・園独自の就職奨励金やオンライン就職活動、WEB採用を積極的に取り入れる
- ・いつまでも働きたい園、楽しい職場を目指し、離職を防止する

保育内容 PS(Planning Section) 子どもの活動・行事他

- ・乳幼児期の教育施設としてこどもの最善の利益を追求し、保育技術と知識の向上をめざす。
- ・こども達が成人する未来の社会をイメージし、多様性を認め合い、グローバルな視点を育てる
- ・「生きる力」「社会情動スキル」を伸ばすための保育・教育を考える。言う力、聞く力を育てる
- ・保育中、職員は「私語」ではなく「保育」でコミュニケーションや連携をとる。
- ・一人一人の子どもの生育歴・心身の発達及び活動の実態に即し、個別計画を立てる。
- ・家庭と共に自己肯定感の向上を目指す。
- ・各機関と連携し、子どもを取り巻く環境、生活の保障、安全を守る。対応スキルを身につける。
- ・環境設定、玩具の特性・あそび方・片付け方、異年齢保育、読み聞かせ方法を研究する
- ・小学校との交流や保育園・幼稚園・小学校連携会議に参加する。かけはし期の学びを深める。
- ・発達相談・門真市巡回指導が定着し、個々の発達に合わせた関わりの手法を学ぶ。

CS(Customer Satisfaction) 保護者・連携

- ・クラス、個人懇談を設け保護者の声を聞く、保護者アンケート結果をもとに計画を立てる。
- ・キャッシュレス決済導入など、保護者の負担軽減を考える
- ・保護者からの苦情や要望に対し速やかに対応し公表する

危機管理

- ・園児確保を重点に。当法人 2 園で門真市入所申込数の50%以上から選ばれることを目指す。
- ・大規模災害に備え、連絡方法・園児受け渡し方法等を整える。帰宅困難時に備え、一泊分を目安に備蓄。
非常時は地域のこどもを含めた保育に特化した地域の拠点となる。
- ・震度 5 弱の地震発生時には休園。ただし、門真市の震災対応の基準が明示されれば準じる。市の災害対策本部が設置されれば連携し対処する。
- ・災害時や園周辺の事件発生時、その翌日等は子どもの安全を最優先に考え、保育に支障がある時は無理な開園はしない。自宅待機等、保護者に判断を求める。
- ・毎月の避難訓練 年 1 回二次避難場所移動訓練 古川園/古川橋小学校 柳町園/速見小学校
- ・門真警察・門真消防署による安全・防災指導を受ける。

保健 嘱託医等

内科	歯科	眼科（柳町園のみ）	薬剤師
堺医院(堺昭彦医師)	堤デンタルクリニック(佐原起志子医師)	川上眼科(川上剛医師)	溝端裕巳

- ・感染症対応、医師の意見書、重要事項は門真市公立園の対応に準じる。
- ・感染症予防策について職員指導をする。継続して肝炎ワクチン接種を続ける。
- ・厚生労働省発出のガイドラインを基に対応を統一。こども集団生活の感染防止対策は困難だが重篤化を防ぐため取り組む。
- ・家庭とこどもの健康に関する情報共有に努める
- ・看護師による視力・聴力検査

食育

- ・ウオクニ株式会社に給食業務委託契約見直し 人件費・食材高騰により委託費、食事料が上がる。
- ・毎月栄養士と給食会議を実施 門真市立保育所の給与目標栄養量を基準に献立作成する。安全な食材選び、こどもが満足する給食を目指す。
- ・アレルギー対応は「保育所におけるアレルギー疾患生活管理指導表」の提出を受け、診断をもとに栄養士が除去食献立を作成。配膳は除去食専用トレイ・食器を使用。
- ・誤嚥事故のリスクを見直し、食事中はこどもを見守る
- ・メニューの画像掲示。給食だよりの発行・レシピを掲載
- ・アレルギー児童がみんなと同じ給食を食べられる、アレルギーのないメニューの導入
- ・楽しい食育行事・菜園活動を企画する。栽培した野菜でクッキング保育を行う。

養成校連携・その他

- ・大阪福祉人材支援センター潜在保育士体験実習・高校生のための保育の職業体験事業・児童分野現場体験事業等に協力

古川園 事業計画 所在地 門真市古川町7-3 (法人本部と同じ)

園長／藤岡里実 副園長／松成晋一 主幹保育教諭／秋山尚美 淡路真弓 相談役／大西潤子			
0才15名	小長谷 尾鳥 早田 廣内 保明	フリー	保育教諭:福本 大谷 看護師:迫田
1才24名	溝井 倉本 宮崎 臼池 西元	早朝延長	早朝:田中(美) 延長:上田(昌)
2才27名	富永 大津 東地 稲垣 寺馬	学童兼任	山本
3才32名	東 福沢 岡本 小村 久保	子育て支援員	羽藤 朝山(志) 辰島
4才31名	平井 大屋敷 山本(海)	講師	体操:徳井 英語:作田
5才32名	江口 永井 河口	発達相談	卒田 こどもサポートルーム si-po
一時保育	田中(裕) 笠川	保育補助	山口 高木 有政 小野 笠原 上田(芽)

保育変更点

- ・おむつ定額制 2歳児 7月まで延長 園生活の子育て負担軽減案を検討する。
- ・親子イベント・キッズランチデーなど子育てについて保護者と共感・語り合う機会を増やす。
- ・妊娠期から学童期まで 100カ月の育ちを支えるため、妊産婦・新生児期も対象に子育て支援事業を拡充する。全開園日、地域に園庭を開放し、いつでもかかりつけ相談園を目指す。
- ・乳児の生活の様子を個別配信、午睡チェックなどに ICT 化を進める

保育内容・研究課題・行事計画

- ・クラスリーダーを中心に倫理観の高い、こどもも大人も「快適な」園内環境を作る。
- ・美しい園内環境 遊びを深め、広げるためにも整理整頓スキル向上。
- ・こども達の人権・人格・権利を守る権利擁護のスキルを高める。
- ・「じぶんまる」と自分のことが好きになるよう、自己肯定感を高める関わりを増やす。
- ・障害児通所施設開設に向けサポートする。
- ・引き続き専門職のサポートを受け支援スキルを高める、こどもの困り、保護者の思いに寄り添う。
- ・保護者の保育士体験を軌道に乗せ、保育の仕事理解と親心をはぐくむ機会を作る。
- ・こどもの主体性を重視した教育・保育、行事のあり方を引き続き考える。
- ・異年齢保育・交流を広げる。
- ・保育の可視化、言語化を研究する。園の保育を発信。職員も互いの保育を共有し高め合う。
- ・新任育成 世代ごとの成長促進 座談会を開催し、保育の不安や行き詰まり感を払拭する。

安全管理

- ・防災・避難計画を保育に反映。地域組織とのつながりを高め、家庭の防災教育を発信する。

保健・食育

- ・看護職採用により、医的視点で保育を見直す。看護職との業務のすみ分けを進める。

施設整備その他

運動場シェード設置 放送・音響設備買い替え

柳町園 事業計画

所在地 大阪府門真市柳町14番10号

園長：大西宏	副園長：大西佐	主幹保育教諭：平田（幼児）	眞野（0才）
0歳15名	山口 石川 中谷 杉本 芝	1歳24名	森 篠川 村田 中村 高橋 大西
2歳28名	古川 篠川 山下 小島 小窪	一時保育	中西
幼児98名	川村 橋田 池田 水崎 秋山 宮城	山本 山之内 京本 福島 藤村 田村	
子育て支援員	丸尾 海老原 片山 金田	フリー	松下 高田
看護師	中川 川瀬 大橋	事務兼務	黒田 安藤
嘱託医	堺医院 堤デンタルクリニック 川上眼科	給食委託	ウオクニ株式会社
薬剤師	溝端裕己	巡回相談	門真市立発達支援センター 金納
お話会	門真市立図書館ボランティア	講師	徳井(体操) 吉田(こぐまチャイルド)

保育サービスの変更点

- ・育児休暇職員が芝、田村、京本、高橋、福島、稲垣の6名が復帰。6月に池田8月田村が産休入り
- ・中川、川瀬の看護師2名を採用し子どもの生活における安全面の強化
- ・物価高騰の影響により保護者徴収金を増額する

少子化対策

- ・入園第1希望申込数25%以上を目標にして、情報発信を強化し柳町園のイメージの定着を図る
- ・子育ての楽しさをSNSにて使って発信し、子育てに関するイベントを開催する

保育内容 PS(Planning Section) 子どもの活動他

- ・新しく作成したやなぎスタイルを共有して保育の理想を実現できるような職場関係を作る
- ・「子どもの対話」と「深い学び」を幼児保育の柱に、ドキュメンテーションの活用も視野に入れる
- ・特許を取得したICTをさらに活用して、環境構成と子ども支援の両面で活かす
- ・ダーを元に連携をとって、共に学びあい、育ちあう関係を目指す
- ・肯定的支援を心がけて、興味や関心を見落とさずに、しっかりと集めて実現できる保育をする

CS(Customer Satisfaction)行事計画

- ・公開保育、園内研修、ロールプレイ、クラス会議、施設見学を積極的に行う
- ・保護者が参画できるイベントや行事を開催する

食育 アレルギー疾患生活管理指導表と除去診断表を使用し、誤食や誤配の安全対策の強化をする

保健 内科検診(年2回)、歯科検診(年1回)、眼科検診(年1回)、発育測定(月1回)、視力検査(年2回)、尿検査(1回)。インフルエンザや感染症等の対策。看護師からの月1回保健だよりによる健康に関する知識を家庭に周知する。012歳おむつ定額制の継続

地域子育て支援

一時預かり保育を月火木金の週4日行い、水曜日は子育て支援イベントを行う。

子ども食堂は1学期に1～2回程度で不定期開催しSNSにて開催を伝える

施設整備 ・外壁塗装の為の積み立ての開始、園庭フェンスの修繕、園庭環境の見直し

その他 ・キャリアパス研修への参加

- ・働き方の改革と意識改革 プラス思考への変換 休憩時間の確保と残業時間の削減につとめる

柳町園ブリスガーデン 所在地 大阪府門真市幸福町 4-22-3F

- ・令和6年3月31日をもって古川橋駅前都市開発によるビル取り壊しのため休園中。
- ・駅前タワーマンション完成の令和8年11月～9年4月に向け再開準備中。

青少年健全育成事業 古川橋小学校放課後児度クラブ

設置目標 児童に適切な遊びと生活の場を整え、異なった学年による児童の集団活動を推進することにより、放課後における児童の健全育成を図る

クラブ方針

- ・こども達が楽しいと思える時間と場所を用意する。
- ・職員が丁寧に学習指導する。静かな落ち着いた雰囲気の中でこどものあそびと基礎学力を補う

所在地	門真市御堂町 18 番 9 号
定員・クラブ数・最大受入数	120 名・3 クラブ・158 名
4 月入会者 要配慮児	104 名 ・ 4 名
主任 / 副主任児童支援員	宮地律子 野口美千代 / 阪本真理奈 那須英子
大阪府認定放課後児童支援員	宮地 野口 阪本 那須 三浦
古川園兼務者 / 補助員	阿部 山本 / 松原 野田英 西岡 宮地心 野田奏 井上

事業内容

- ・事業委託 17 年目 2025 年 4 月 1 日～2030 年 3 月 31 日
- ・5 年契約の初年度。クラス数が増える。
- ・阿部は児童発達支援施設開設までは従来の勤務を続ける。山本は古川園で午前中勤務する

クラブ内容・活動・行事

- ・異動のため主任が変わる。新体制での保育を作り直す。
- ・こどもを尊敬の対象として見る。こどもの人権擁護のスキルを高める
- ・こどもが主体的に取り組み、体験できる環境を提供し、遊びを通じて成長をサポートする。
- ・『遊び』を通してこどもの問題解決能力を育む。
- ・放課後等デイサービス利用児について、各施設と連携する。
- ・課題ある児童について行政、学校(教諭、支援担)療育施設と共有、連携し発達と家庭を支える。
- ・メール配信システム『安心でんしよばと』で、保護者へ日々の活動を発信。連絡帳・通信だよりなどで、保護者との連携を図り、相談しやすい雰囲気作りを心掛ける。
- ・学年担・業務係など複数で担当し、急な支援員の欠勤があっても対応ができるようにする。
- ・授業中教室にいられない児童が、校内のクラブエリアに無断で入る、玩具を使用することが課題。
- ・門真市放課後児童クラブの保護者利用金の値上げで、利用者数が微減する。

食育・保健

- ・アレルギー児のおやつ提供は必ず二人対応、確認を徹底。エピペン、救急車通報訓練。
- ・管理表を作成・掲示し、おやつの在庫や期限切れの見落としがないよう徹底する。

危機管理・苦情

- ・避難確保計画、安全計画、事業継続計画をもとに学校と連携、保護者にも取り組みを周知する
- ・校区、通学路を把握。ミーティングで児童の出欠や下校方法を確認し、間違いのないよう徹底する。
- ・4・9・1 月避難訓練 避難経路の確認 不審者情報が入れば、学校と連携し付き添い下校。
- ・ケガ、病気等、緊急事態発生時には保護者との連絡を密にし、市役所へ報告する

障害児通所支援事業 こどもサポート ふるかわベース

事業目的

障害児及び障害児の保護者の意思、及び、人格を尊重し、障害児及び利用者の立場に立った適切な指定児童発達支援、指定放課後等デイサービスの提供を確保することを目的とする。

運営方針

障害児が日常生活における基本動作を習得し集団生活に適応することができるよう、当該障害児の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて適切かつ効果的な指導及び訓練を行うものとする。

所在地	大阪府門真市御堂町5-22-1A
定員	10 名
管理者	藤岡里実
児童発達支援管理責任者	目加田順平 丸山佳代(保育士)
保育士 / 補助員(運転手)	阿部 上村 / 砂田

事業内容

支援を必要とするこどもとご家族の生活や将来が豊かになるように寄り添う

- ・個別支援計画の作成
- ・日常生活における基本的な動作の指導、集団生活への適応訓練、その他必要な支援

療育活動・行事

- ・6 月開設を目指し準備中。令和 7 年度中に、月間利用者 200 人を目指す。
- ・障害福祉の制度、事務処理をマスターし事業運営を軌道に乗せる。
- ・支援スキル向上 それぞれの特性について学びの機会を増やす。
- ・経験者を児童発達支援管理責任者に迎え、開設準備と軌道に乗るまで雇用する。古川園からの異動職員も研修終了まで「みなし児童発達支援管理責任者」になる。
- ・営業時間 9時30分～16時30分 サービス提供時間 9時30分～16時30分
- ・実施地域は門真市、守口市、寝屋川市。運転手兼務職員採用をして、送迎の安定化を目指す。
- ・地域との結びつきを重視し、当該児の所属する、園、学校とも連携を深める。
- ・家庭との連携を重要視し、親子療育のイベントを定期開催。親同士のつながりの場を作る。
- ・こどもを尊敬の対象として見る。こどもの人権擁護のスキルを高める。
- ・木曜日午前中は施設を開放して、地域の方に遊び場として提供する。
- ・こどもの発達に合わせて「遊び」を通じて、社会性を育む。所属園・校などでの社会スキルの向上を目指し、小集団の療育保育で自信を持てるよう支援する。
- ・児童発達支援施設に通うことが他児から羨望的になるような楽しい療育保育を展開する。
- ・相談支援、保育所等訪問支援の事業拡大を目指し、人材確保など準備する。